



『おおきなもののすきなおうさま』より

安野光雅の絵本展



『風景と出会い』より「バスクの港」



『空想工房の絵本』より「知恵の輪」

2018.6.16sat-7.21sat

開館時間 / 10:30-17:30 (最終入館 17:00) 休館日 / 日曜・祝日 入館料 / 無料

桐蔭学園アカデミウム ソフォスホール

主催 / 学校法人桐蔭学園 企画協力 / 島根県津和野町立安野光雅美術館

桐蔭学園アカデミウム 神奈川県横浜市青葉区鉄町 1614 TEL.045-975-2100 <http://toin.ac.jp/ma/>

「安野光雅の絵本展」に寄せて

桐蔭学園理事長 平岩 敬一

皆さんは子どものころ、想像をふくらませて現実にはない不思議な世界に想いを巡らせたことがありますか。

この度、画家・絵本作家・装丁家・エッセイストの安野光雅さんの絵本原画展を開催致します。安野さんは1926年（大正15）、島根県津和野に生まれ、子どものころから画家への夢を抱いておられました。上京してからは、美術教員のかたわら、本の装丁などを手がけ、1968年（昭和43）『ふしぎなえ』によって絵本界にデビューし、独自性に富んだ作品を次々と発表されました。その業績から1984年（昭和59）に国際アンデルセン賞を受賞、2012年（平成24）には文化功労者に選出され、これまで数々の賞が贈られています。

水彩画特有の透明感ある色彩で作品を生み出す安野さんは、美術のみならず

科学、数学、文学、歴史などにも造詣が深く、鍛えられた観察力と柔軟な発想を持たれています。今回会場に展示する『空想工房の絵本』は、数学雑誌『数理科学』の表紙をまとめたもので、一つ一つの作品に仕掛けと意味が隠されており、作品に添えられた知己に富んだ文章とともに私たちを不思議の世界へ誘ってくれます。また、世界の風景を描いた『風景との出会い』は叙情感あふれる作品で、世界各地の風土と人々の営みが感じられます。どの作品も一人の作家から生み出されたものとは思えないほど多面的な感動と喜びを与えてくれます。

誰もが子ども心に「不思議な発想」をしたことがあると思います。安野さんの作品を通じて、児童・生徒・学生たちには自由な発想を抱きつつ、心あたたかく、やさしい気持ちになって欲しいと願います。

●**展示内容**・・・大きなものがとても好きな王さまが、家来たちに命じて、つぎつぎと大きなものを作らせる『おおきなもののすきなおうさま』。名作文学を絵にした『物語の街から村へ』や、子どもの表情が愛らしく、夢ある世界観の『おたより』など全80点を展示。

驚きと感動を呼ぶ
素晴らしき想像の世界へ



『風景との出会い』より「ノルマンディーの田舎」



『空想工房の絵本』より「紗綾形」



『おたより』より



『物語の街から村へ』より「注文の多い料理店」



『物語の街から村へ』より「二十四の瞳」

© 空想工房
画像データ提供 安野光雅美術館



安野光雅 (あんの みつまさ)

1926年（大正15）3月20日、島根県津和野町生まれ。1968年（昭和43）『ふしぎなえ』で絵本界にデビュー。『ABCの本』で最も美しい50冊の本賞、『あいうえおの本』でBIB金のりんご賞、『安野光雅の画集』でポロニーヤ児童国際図書展グラフィック大賞受賞。国際アンデルセン賞、芸術選奨文部大臣新人賞、紫綬褒章受章、菊池寛賞受賞など数々の賞を受賞、2012年（平成24）には文化功労者にも選出されている。代表作には、『天動説の絵本』、『旅の絵本』、『繪本平家物語』、司馬遼太郎の歴史紀行『街道をゆく』の装画などがある。

TOIN GAKUEN ACADEMIUM 【桐蔭学園アカデミウム 交通のご案内】

※駐車場はございませんので、公共交通機関等をご利用ください。



- 【バスご利用の場合】各駅より約15分
- 東急田園都市線 青葉台駅より「桐蔭学園前」行、終点。または「市が尾駅」行、「桐蔭学園前」下車
 - 東急田園都市線 市が尾駅より「桐蔭学園前」行、終点。または「青葉台駅」行、「桐蔭学園前」下車。または「柿生駅北口」行、「桐蔭学園入口」下車
 - 小田急線 柿生駅より「桐蔭学園」行、終点。または「市が尾駅」行、「桐蔭学園入口」下車

【タクシーご利用の場合】東急田園都市線 青葉台駅、または小田急線 柿生駅からが便利です。行き先は「桐蔭学園 鉄(くろがね) 神社前」とお伝えください。